

脳卒中発症後の栄養管理を行う事の 効果に関する調査のお知らせ

脳卒中で入院された患者様は、体に起こった病気のために栄養状態が悪くなることがあります。また、機能回復のためのリハビリ訓練に耐える体の準備が必要となります。そのため当院では、脳卒中発症にて口から栄養摂取のできない患者様の適切な栄養管理を行うことを目的とした栄養手順書『脳卒中栄養プロトコル』を使用しております。今回、脳卒中栄養プロトコルの効果や運用方法について再検討を目的とした調査を行う事になりました。この調査を通して、脳卒中発症早期の安全でより効果的な栄養管理に役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2017年8月から2018年8月の間に脳卒中で脳卒中センターに入院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、食事の状態や排泄状況、血液検査データなどについて情報を得て、栄養管理による効果を統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

看護師 隈本伸生 渡邊俊一

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）

